



HAMAKITANISHI HIGH SCHOOL 2025.2月号



2月 図書館だより

三年生が家庭学習に入り、二学年だけの校内はより寒々しく感じられますね。こんな時は心を温めてくれる本など読んでみては如何でしょうか？さて、今年も本屋大賞の季節がやってきました!!最近では、メディアにも取り上げられ身近な本のお祭りとして盛り上がっています。他の名高い賞にもひけをとらない作品たちが10作品エントリーされますが、色々なジャンルの本が並びますので、読んでいても飽きないですよ！大賞発表は4月！それまで自分の大賞を選んでみてくださいね。作品は館内に掲示しますが、人気作品は借りたい人も多いため貸出中の場合は予約をお薦めします。

本屋大賞ノミネート作品 2025



禁忌の子
(山口未桜)



恋とか愛とかやさしさなら
(一穂ミチ)



小説
(野崎まど)



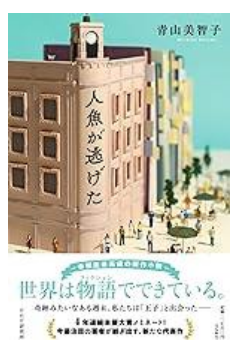
成瀬は信じた道をいく
(宮島未奈)



生殖記
(朝井リョウ)



死んだ山田と教室
(金子玲介)



人魚が逃げた
(青山美智子)



アルプス席の母
(早見和真)



カフネ
(阿部暁子)



spring
(恩田陸)

(注目の作品)

アルプス席の母

母子家庭で大切に育てた息子は、野球の強豪校へ進路を決める。息子の夢を叶えるために、拠点を移し応援を続ける母。今までにはない世界に戸惑い悩むが、お互いを思いやる優しさに心

打たれます。母親目線の新しい高校野球小説。戦っているのは、子供だけではない！のだと痛感させられますよ。

禁忌の子

第34回鮎川哲也賞 受賞作品

救急医、武田の元に搬送されてきたのは自身と瓜二つの死体。彼はいったい誰なのか、なぜ死んだのか、そしてなぜ同じ顔をしているのか。過去と現在が交錯する、医療ミステリ！自らのルーツを辿った先にある真相に驚かされますよ。お薦めです！

死んだ山田と教室

夏休みが終わる直前、山田が死んだ。勉強ができて、面白くて、誰にでも優しいクラスの人気者だったのに。悲しみに暮れる教室…その時間こえてきたのは山田の声？教室のスピーカーに憑依した山田とクラスの仲間たちの不思議な日々が始まる。男子高校生ならではの会話に笑いほろ苦くて切ない青春物語です。

Spring

「蜜蜂と遠雷」で音楽を「チョコレートコスモス」では演劇を描き、今作品ではバレエを題材に読者の心を掴む。主人公の萬春は、八歳でバレエに出会い、十五歳で海を渡り、無二の舞踏家にして振付師として成長を遂げていく。筆者がバレエの美しさを活字でどう描写しているのか、実際に読んで体感してみてください。流石！という言葉しか見つからないですよ！

*一部入荷してない本がありますが、入荷次第展示いたします



ALTのMaya Kanetake先生がハワイの可愛い絵本を寄贈してくださいました。

図書室入口に本のマスコット人形と一緒に展示していますので、是非手にとって見てみてくださいね！
ハワイらしいカラフルさで惹きつけられますよ。



2025年1月 ベストリーダー



1位	37HR	天野さん	13冊	5位	17HR	松尾さん	9冊
2位	12HR	柄澤さん	10冊	6位	34HR	金子さん	8冊
2位	22HR	椋本さん	10冊	6位	36HR	鈴木さん	8冊
2位	34HR	長谷川さん	10冊	8位	26HR	大野さん	7冊



図書委員会からのお願い

2月の20日まで図書アンケートを実施いたします。好きなジャンルや入れて欲しい本など、来年度からの本の選書にも役立つものですので、是非参加をお願いいたします。用紙は図書室にあります！